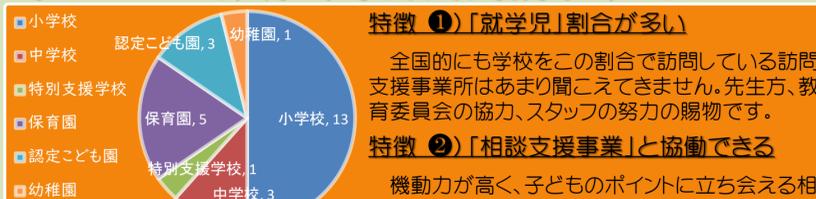




親身でスピード感のある支援してくれる
「相談支援」と「学校/園への訪問支援」
があるんだってよ!!!!

子LABの保育所等訪問支援事業の推移



特徴① 「就学児」割合が多い
全国的にも学校をこの割合で訪問している訪問支援事業所はあまり聞こえてきません。先生方、教育委員会の協力、スタッフの努力の賜物です。

特徴② 「相談支援事業」と協働できる
機動力が高く、子どものポイントに立ち会える相談支援、訪問事業支援の両輪を持ち活用します。

特徴③ 生活場面・支援施設で0～18歳まで
多くの時間を過ごす幼保園・学校での現場との協働、児童発達・放課後デイの施設での支援とともに0～18歳まで、相談支援事業所の計画の立案から支援できます。

(人)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
利用者数	15	21	20	26	24	29	29	27	27	25	28	35	306
延べ数	28	35	29	48	40	59	57	45	54	51	43	55	544

子LABの相談⑦宣言

- 1 子LABの通所事業所以外の施設も紹介
- 2 子LABの通所事業所以外の施設も利用可能
- 3 利用中の障がい児相談支援事業所はいつでも変更ができます
- 4 支援計画は初回・継続作成ともに初回面談から合意形成～サインまで必ず実施
- 5 指定期間毎に保護者および障害福祉サービス提供者へのモニタリングを必ず実施
- 6 必要に応じて担当者会議を本人/保護者、多職種/他障害福祉支援者を招集・調整
- 7 コーディネータの役割を務め、保護者や支援者から聞き取りや面談、情報収集を行います

別冊



2021年4月9日発行

日本財団助成事業 『子どもの視覚認知評価の実施 および個別支援の提供』

子どもの目がみんなと同じように見えていると思っていませんか？
見え方によって、生活や就学、学校生活に困難さが生じることはご存じですか？

療育の中に見えやすさ、見え方を検討されたことはありますか？
視覚支援の必要性を評価したことはありますか？

〔検査項目〕

- ① 弱視・近視・遠視・乱視・不同視・斜視・瞳孔不動のスクリーニング検査
⇒ SpotVision Screener
- ② 標準色覚検査
⇒ 石原式色覚異常検査表・SPP標準色覚検査



児童発達支援 放課後等デイサービス 事業所番号: 2450500588



- ・体験イベント
- ・親子イベント
- ・講習
- ・講演会イベント

保育所等訪問支援 事業所番号: 2450500588



障がい児相談支援事業所 指定特定相談支援事業所 事業所番号: 2470500766 事業所番号: 2430502803



デジタルものづくり教室 少人数制個別学習支援教室



アスリート支援・スポーツ 余暇・運動スキル指導



賛助会員入会申込書

NPO法人HA-HA-HAを支援するための会員「賛助会員」の申込書です。入会金は地域の子どもたちへの支援を中心に地域貢献事業に活用します。賛助会員費は法律上、対価を提供できません。ご了承の上、援助を賜りたく、お願い申し上げます。

〔個人賛助会員費〕年会費 3,000円
〔企業・団体賛助会員〕年会費 10,000円
〔申し込み方法〕 ご入金の上、賛助会員入会申込書を郵送またはFAXにて送付してください。次年度より振替をご希望の方は振替用紙をご記入の上、入会申込書と合わせて郵送をお願い致します。用紙が不足した場合にはコピーをお願い致します。
郵送先: 〒514-0042 三重県津市新町1丁目1-16 IF(NPO法人HA-HA-HA) FAX: 059-229-1516
〔入金先〕

三十三銀行 津新町支店 (普通) 6016297	☎059-229-1516 FAX: 059-229-1516
百五銀行 津新町支店 (普通) 698556	[電話受付時間] 平日 08:30 ~ 17:00 土曜 08:30 ~ 15:00

振込人名	〔住所〕〒 -		
〔振替用紙の希望〕 デフォルト <input type="checkbox"/>	様	電話番号	- -
		入金総額	円

御寄附申請書

当法人では地域の子どもたちへの支援を中心に様々な地域貢献事業の資金を求めています。ご寄付いただいた資金は当法人の地域貢献活動資金(用途のご指定もしていただけます)として活用させていただきます。
〔申し込み方法〕 ご入金の上、御寄附申請書を郵送またはFAXにて送付してください。次年度より振替をご希望の方は振替用紙をご記入の上、入会申込書と合わせて郵送をお願い致します。用紙が不足した場合にはコピーをお願い致します。
郵送先: 〒514-0042 三重県津市新町1丁目1-16 IF(NPO法人HA-HA-HA)

〔入金先〕

三十三銀行 津新町支店 (普通) 6016297	☎059-229-1516 FAX: 059-229-1516
百五銀行 津新町支店 (普通) 698556	[電話受付時間] 平日 08:30 ~ 17:00 土曜 08:30 ~ 15:00

氏名・企業・団体名	入金額	住所	電話番号
(公開可・非公開・匿名希望) 様	円	〒 -	- -
寄付金の使用目的	指定しない	指定する()	

今回の事業のポイント



- ① 生活・就学の基礎 ~ 様々な視覚異常のスクリーニング
- ② 生活のコントラスト ~ 色覚異常のスクリーニング
- ③ 医療・福祉連携 ~ 専門的な支援に繋がります
- ④ 心理検査等の追加 ~ 異常や生活困難の強い子どもの視え方や物の捉え方、読み書きの様子等を専門的に捉え、情報共有します



① 生活・就学の基礎

Spot Vision Screener

最も一般的な視力に関するスクリーニングをより専門的に弱視に関わる機能検査として

「近視・遠視・乱視
・不同視・斜視・瞳孔不動」

を短時間で身体への侵襲リスクなしに計測。

生活や就学に関して最も基礎的で基盤となる視覚に関して、見える、見えない、見え方などをここでしっかりさせておくことは重要です。

今後、専門支援の際、忘れられやすく、気付かれにくい、しかし最重要な能力の1つです。

③ 医療・福祉連携

多職種連携

今回の事業は子LABだけのものではなく、

「幼稚園・保育園・子ども園・学校、療育・医療など」

子どもを取り巻くすべての専門職が関わり、情報共有し、支援共有するための基礎事業。

「大切な情報を必要などころへお届けし多職種を繋ぎ、連携を強化」

する重要な機会です。子どもそれぞれのネットワークをこの機会に繋いでいくのも大切です。

② 生活のコントラスト

色覚異常検査

生活にコントラストがない...ってどういうこと？

「物と物、物と空間、字と背景の境界線ははっきりしない」

境界線の認識が難しく、字、ものが捉えにくく、読み書きや歩行などの基本的な運動や細かい作業などにも影響が出やすいところです。

「色覚異常検査が就学前健診からなくなりました」

就学後に困難感から発見されるなど、発見時期が遅くなってきています。

④ 心理検査等の追加

子どもの視え方を追う

今回の視え方の基盤を評価した後

① 医療機関への紹介

視覚異常の程度により、医療機関を紹介し、子どもの支援ネットワークに医療機関を加入させておくことは重要です。

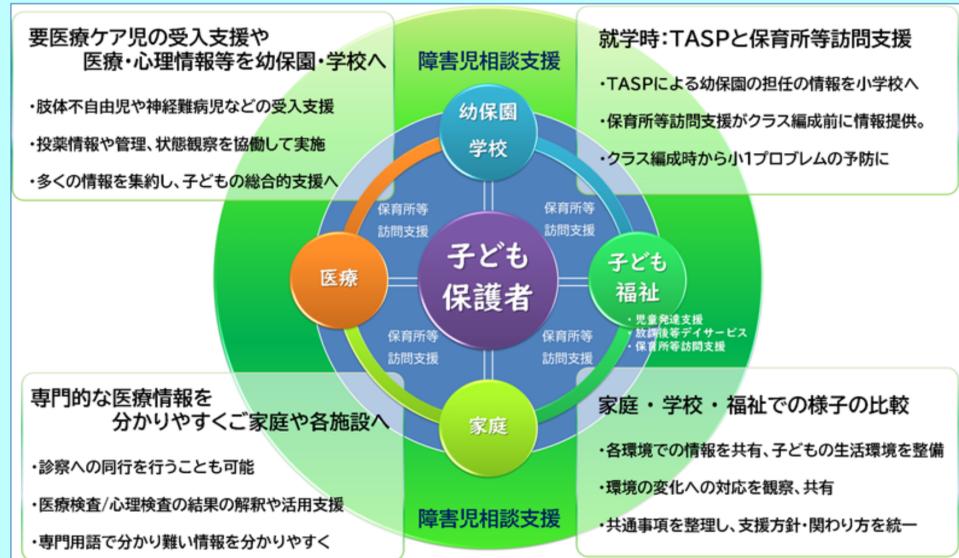
② 詳細に評価する

種々の評価でも子どもの視え方が分かるわけではなく、しかし子どもに起きていること、困っていることを助け、支援者が活用する情報になる可能性があります。

心理検査は専門職による実施が必要です。

③ 医療・福祉連携 ~専門的な支援に繋がります

子LABは相談支援と訪問支援の両者によりセンターに近い機能があります。この2事業の機動力を活かし、子どもに関わる専門職を結びます。また児童発達支援と放課後等デイにより、全生活ステージを支援でき、学齢が上がっても、スムーズな引継ぎ連携が可能で縦の連携ができます。



障がい児相談支援事業 子LAB

相談支援専門員がコーディネーターの役割を担い、全ての専門職と家庭・幼稚園・学校を繋ぐ、横の多職種連携を実現。

保育所等訪問支援

相談支援により、現場での困り事や様子を知り、支援に必要な情報収集が進みます。現場との連携により、支援を統一し、支援強度を一日高く保てます。

④ 心理検査の追加 ~ 異常や生活困難の強い子どもの視え方や物の捉え方、読み書きの様子などを専門的に捉え、情報共有します。

子LAB・学LABが実施可能な心理検査の代表例

WAVES-Digital	DTVP	CARD	LD-SKAIP
視覚関連基礎スキルの3領域(①「視知覚」、②「目と手の協応」、③「眼球運動」)に対する検査が可能。検査結果に応じたトレーニングも行えます。	フロスティググ視知覚発達検査 【対象】4歳~7歳11か月 幼稚園~小学校低学年の視知覚上の問題点を発見し、最適な課題を提案します。	包括的領域別読み能力検査 【対象】小学生 読み書きのつまづきの要因を総合的に評価し、「どこで?なぜ?」つまづいたのかを理解しやすくします。	日本LD学会が文部科学省の委託で開発。 【対象】小学生 LD-SKAIPは発達障がいのある小学生の学習面の課題を早期に発見し、特性に合わせた支援をするためのツール【STEP I】~【STEP III】 ※LD-SKAIPは日本LD学会に所属し、特別支援教育士を持ち、かつ、LD-SKAIPの専門研修が済んだ検査者が心理検査です。
URAWSS II	URAWSS-English	STRAW-R	MN-READ-J/Jk
【対象】小~中学生 小中学生の読み書き速度を評価、支援技術等を活用した支援を行うための評価。不十分な理解のまま、学習が進むのを防ぐことが目的。	【対象】中学生 学習の成果が出ない、必ずしも能力のせいではなく、その子どものため、どの英語学習が適しているかを示してくれます。	改訂版標準読み書きスクリーニング検査 【対象】小1~高3 読み(正確性と流暢性)の評価。唯一ひらがな、カタカナ、漢字の3種類の評価ができ、入試の合理的配慮などにも活用される。	弱視児などが晴眼者の標準的な読書速度、読書に適切な文字サイズ、何とかがりぎり読書ができる文字サイズを測定する。実用的な読書を実現するためのフォントやサイズについて知ることが出来ます。 【J】:小田氏読書チャート 【Jk】:ひらがな読書チャート ※保護者の希望だけで心理検査は実施しません。本人の様子、困り事などをお伺いし、総合的に実施を決定します。またどの心理検査を行うかについても相談していきます。
LCSA	PVT-R	TASP	
【対象】小学1~4年 粗雑な指標でなく①文や文章の聴覚的理解②語彙や定型句の知識③発話表現④柔軟性⑤リテラシーの5領域で評価。支援指針を作る。	絵画語い発達検査 【対象】3歳~12歳3か月 言語理解力で特に基本的な「語いの理解力」の発達度を短時間で正確に測定。要支援児の発見にも。	保育・指導要録のための発達評価シート 就学時の「クラス編成」の情報引継ぎが大きな目的。見やすく、客観的に発達を評価、伝達できる。学級崩壊等の予防にも役立つとされる。	

子LABが実施している心理検査の活用

保育所等訪問支援の活用	障がい児相談支援の活用	学LABの活用	医療連携
支援の機動性から情報を専門職や幼稚園・学校などの機関に提供。多職種連携や保護者連携から、多くの時間で支援に繋がる配慮された環境で過ごせ、安心した環境で負荷なく支援強度を高めます。	コーディネイト機能を活用し、利用する機関などに情報提供。支援の開始や変更に伴う、支援のスタート地点から情報提供、多職種連携が可能。配慮された環境をできるだけ長く築き上げます。	心理検査等を主に担う。上記の心理検査は学LABで実費で実施します。理由は支援時間中に実施時間が取れない、子どもに高負荷なものもあり、必ず実施するものではない、非常に時間や専門性を要し、実費でなくては継続できないことが挙げられます。	医療機関への受診や入院時に支援情報と共に添付して情報提供を行います。 Vineland-II 国際的スタンダード。標準化済、汎用性が高く、WISC等ができない時も参考にでき、子LABは全利用児に実施します。

② 生活のコントラスト ~色覚異常のスクリーニング

低コントラストの世界

~色覚異常検査が発達検査からなくなって

* 保護者や先生・支援者に「気づかれない」

はじめまして、NPO法人HA-HA-HAです。このパンフレットは日本財団の支援を受け『子どもの視覚認知評価の実施および個別支援の提供』事業を行うためのものです。子どもの見え方にまつわる生活上の困難感を発見し、支援に繋げるための活動をさせていただけることになりました。子どもだけではなく、保護者も実施可能です。ぜひ活用していただければと思います。お気軽にお声掛け、お問い合わせください。

子どもは産まれた時から視覚が発達しますが、色覚異常がある子どもは自分の見え方が普通です。そのため小学校高学年でも訴えることなく、気づかれない子どもも多い。

* 「低コントラスト」

背景色と文字色の違いによる「読みやすさ」は皆さん感じられたかと思います。この読みにくさが最大限、強い(低コントラスト)場合、どうなると思いますか？

? 背景がムラのある布地になっただけで、読みにくくありませんか？

色覚異常が低い子どもは読みにく程度で順応していきますが、『コントラストが低くだけ...と、軽くみていると...』

異常の低度が軽い順に見つかるのが遅くなり、読みの経験不足だけではなく、読みそのものが苦手、実はひらがなの読み書き(音韻認識なども関わるところ)が苦手だった、ということになりかねません。早期発見、早期支援が重要です。

★ 「色覚検査の実施」

「石原式色覚検査表Ⅱ コンサイス版」もしくは「SPP標準色覚検査」



色覚検査は簡便で短時間で実施できます。SVSの検査の実施と並行し、色覚異常についても知ることが今後、支援を受ける際に最も基礎的で重要な情報となります。もしここで苦手が発見できれば、「今ここで見つかってよかったね」と専門的なや医療機関へ繋ぐことができます。

事業名 『子どもの視覚認知評価の実施 および個別支援の提供』
事業期間：2021年4月1日～2022年3月31日

障害のある子どもたちが、盲聾、肢体、知的などの特別支援学校に行くのではなく、可能であるならば地域の学校で自分にとって必要な知識やスキルを得ながら、苦手を補うICTや環境を自ら設定したり、求めたりでき、地域の学校で主体的に活動できる環境を目的とします。

[事業総額]	1,610,000円 (自己負担割合)	[購入物品]	Spot Vison Sceener (¥1,056,000)	[予定成果物]	支援者用パンフレット 保護者用パンフレット
[助成額]	1,280,000円 20.5%		小田氏読書チャート (¥30,800)	[予定工程]	利用者評価(子LAB & 相談子LAB) 協力事業者(他事業所へ出張)
[法人負担]	330,000円		ひらがな読書チャート (¥30,800)		
			石原氏色覚検査表Ⅱ (¥8,800)		

※ SPP標準色覚検査は特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター「2020年度「コーヒー寄付金」寄付先採択による寄贈です。事業名「視覚に苦手を持つ子どもの早期支援を実現する事業～見逃されがちで大幅に支援が遅れる現状の改善モデル育成」

* あなたには表紙の「かえる」前ページの隠し文字は見つけれましたか？

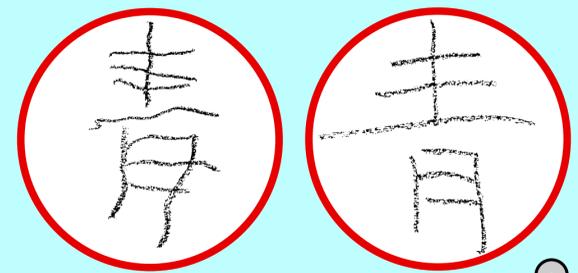
はじめまして、NPO法人HA-HA-HAです。このパンフレットは日本財団の支援を受け『子どもの視覚認知評価の実施および個別支援の提供』事業を行うためのものです。子どもの見え方にまつわる生活上の困難感を発見し、支援に繋げるための活動をさせていただけることになりました。子どもだけではなく、保護者も実施可能です。ぜひ活用していただければと思います。お気軽にお声掛け、お問い合わせください。

子どもの苦手はいろいろなところに現れていることがあります。

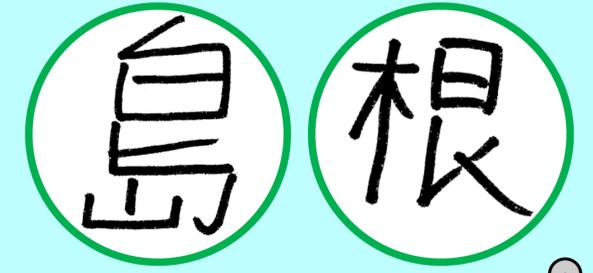
色覚異常による低コントラストから、見えにくいというのは周囲からは非常に分かりづらいところですが...視覚認知に苦手を持つ子どもには様々な特徴あるサインが出ていることがあります。



視覚認知の具体的な苦手や関わるちからの例



細かいところを見るのが苦手



特徴的なパーツごとに書く



板書の書き写しが苦手



ひらがなやカタカナの読みが苦手

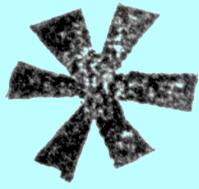


おもちゃや字などへの興味が薄い



つまずく、こける、ぶつかる

※これらはすべて実例ではなくモデルの例示です



視覚が子どもの生活や就学におよぼす影響について...

視覚関連基礎スキル	
① 両眼視	⑤ 調節
② 視知覚と認知	⑥ 視力
③ 視野	⑦ 色覚
④ 目と手の協応	⑧ 眼球運動 ...など

視覚以外の要因	
① 知的要因	
② 言語・聴覚	
③ 注意・集中	
④ 協調運動	...など

視覚の苦手が

『小学校高学年』まで

遅れるなど、発見の遅れも進んでいる印象があります。

そうすると苦手感は強く、嫌いで、生活から十分すぎるほど、読み書きが遠ざかっていることが多く、

『内容理解スキル』

の成長が難しい状況に。



視覚関連の子どもの様子	
① 読み飛ばしが多い	
② 黒板を書き写すことが苦手	
③ 定規の目盛りが読めない	
④ 図形の問題が苦手	
⑤ 読む作業で目が疲れる、集中力が続かない...など	

上記含み、子どもの困りの要因の推定が少しずつ進んでいます。



生活・就学の基礎

～様々な視覚異常のスクリーニング

「子どもの見え方」はいわゆる視力だけではなく、上記の**眼球運動・色覚**など様々な視覚認知能力により見え方が変化します。そして記憶や情報操作にも関わる「ワーキングメモリ」、「処理速度」など複雑認知能力が重複し、視覚認知能力を形作っています。視覚認知能力の苦手がある子どもは、先に紹介した例などを含めて、生活や活動に特徴があることがあります。

『Spot Vision Screener (SVS)』 ※結果は印刷してお渡します

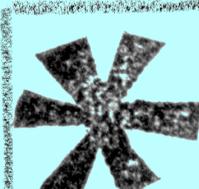
大学病院や乳幼児健診でも活用され、2019年、日本眼科医会「園医のための眼科健診マニュアル」にも取り入れられるほど、高精度なスクリーニング機器。視覚認知という脳機能を支える基盤が子どもの中に育まれているか、高精度かつ簡易的にスクリーニングを行います。侵襲性もなく、リスクなく検査可能です。



[2秒間、画面を見つめる]

『SVS』のスクリーニング項目

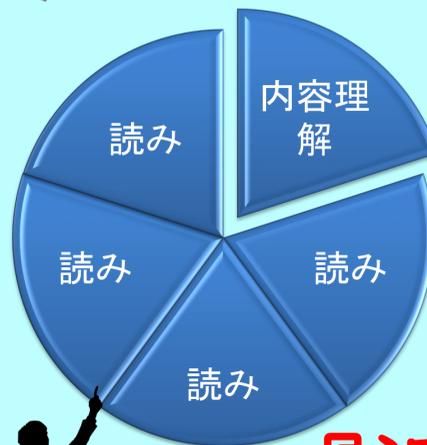
- ① 近視
- ② 遠視
- ③ 乱視
- ④ 不同視
- ⑤ 斜視
- ⑥ 瞳孔不同



視覚的や聴覚的な苦手などにより

『読む(文字を音に変える)』ことに

努力を要すると...



①「内容理解に影響します」

内容理解に配分できる能力の容量が足りず、読むだけで精いっぱい状況になります。

②「ミスが多くなります」

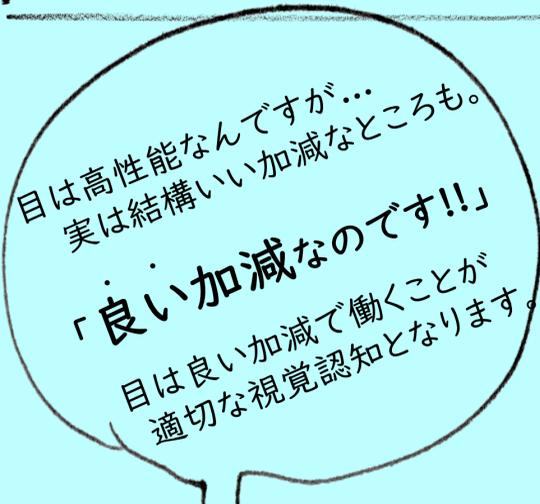
周囲に注意が配分できず、ミスが多くなります。

『視覚』による読みの苦手を**早期に発見し**、

トレーニングと代替りの力を得て、『**内容理解の経験不足**』を軽減することが重要です。



視覚の苦手を持つ子どもには一定の割合で運動・器用さに苦手を持つ子どもがいることが報告されています。



『読みの本質』

読むことの本質は内容を理解し、内容から知識や新しい言葉、文法的経験を得ること。

それらを活用し、さらに自分が使えるようになることで、この良いループが繰り返されます。

[理解して読むことで得られるもの]

① 語彙 ② 新しい知識 ③ 文法的経験...
⇒総合されて内容理解へと繋がります。

✕ 「ひらがな」「カタカナ」を繰り返し読ませる
・内容理解の伴わない、音読を繰り返す

✿ ・理解できる手段で読む(聴く・見る・触る...)
・短時間の音韻※1トレーニングの短期サイクル

つまり内容を理解せずとも、音読を練習で流暢に読める子どもがいます。それが理解に繋がるとは限らず、音韻認識の苦手な強い子どもは理解まで及ばないことが多い。将来に活かすためには、音読の繰り返しではあまり意味を成しません。

評価料: 500円

- 1) スポットビジョンスクリーナー評価
- 2) 色覚評価
- 3) 評価結果表

※1:簡略に「音韻」とは文字からその音を出し、言葉の音から文字を起す(想起する)こと

※1:簡略に「音韻」とは文字からその音を出し、言葉の音から文字を起す(想起する)こと